

3年生「いのちの授業」

昨日5、6時間目に、3年生を対象とした「いのちの授業」が行われました。講師は、柳川市で「めぐみ助産院」を開かれている助産師：寺田恵子先生でした。

とても学びの多い講話でした。寺田先生の温かい人柄と語り口調によって、真剣に「いのち」について考えることができました。赤ちゃんができて産まれてくるまでの様子や子育てするにあたっての心構え、思春期の今をどのように過ごすか、これから親になっていくことなど、様々な観点からお話しをさせていただきました。聞いていて、全てが心にしみわたるお話しでした。私は、普段、講話を聞いて感動した時は、「〇〇が良かった」とか「〇〇が心に響いた」など、具体的に感想を述べるのですが、今回の講話は全てが素晴らしく、表現するのであれば「**荘厳**」と言ったところでしょうか。

「いのち」について学ぶということは、それだけ価値のあることだと思います。3年生はまもなく卒業し、やがて社会へ出て活躍します。大人になっていく彼らにとって、「いのち」について学ぶことは、とても大事なことです。

また、講話の後に、生徒代表によるお礼の言葉がありました。こちらも講話と同様、とても素晴らしい言葉でした。

要約すると、「命が宿ることは奇跡です。今、私たちが元気に生活できていることも奇跡です。今日、うちに帰ったら、私たちが産んで育ててくれたお母さんにありがとうって言いたいと思います」という言葉でした。今日の講話がとても子ども達にとって心に残る学びの深いものであった証です。

「いのち」を大切にしなければならないと強く思いました。

